

令和8年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 111

千葉県立君津商業高等学校 全日制の課程 商業科・情報処理科

1 期待する生徒像

人物に優れ、本校を志願する動機及び理由が明確で、学業や資格取得に積極的に取り組む意志があり、かつ、次のア又はイの要件を満たす生徒。

ア 学校生活に意欲的に取り組み、学習成績が優秀な生徒。

イ 部活動・特別活動等に優れた実績又は能力・適性を持ち、入学後もそのことを高校生活に生かし、継続して活動する意志のある生徒。

2 選抜の資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査	学校が定めた次の検査の結果
自己表現	<p>次のア、イのいずれかを、出願時に志願者が選択</p> <p>ア 口頭による自己表現（日本語による自己アピール） 実施形態：個人で発表 検査時間：1人の目安は5分程度（発表する時間は3分程度）</p> <p>イ 実技による自己表現 実施形態：個人で発表（ただし、団体種目は、複数人数で実施） 次の実技のうち1つを選択 卓球（男女）・柔道（男女）・剣道（男女）・ ソフトテニス（男女）・バレーボール（男女）・ バスケットボール（男女）・バドミントン（男女）・ 野球（男）・サッカー（男）・ソフトボール（女） 検査時間：1人の目安は5分～10分程度 1グループの目安は30分～60分程度 （種目により異なる）</p> <p>自己表現検査においては、発表内容についての質疑応答も含める</p>

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	0点の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書〔180点満点〕

アの数値に、イについて加点（上限45点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値にK=1を乗じた数値で評価する。 評定1又は未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 特別活動の記録 部活動等の記録 特記事項	学級活動、生徒会活動、部活動、資格取得及びその他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。

**(3) 学校設定検査（自己表現）〔100点満点〕**

次のア、イについて、それぞれ2名の評価者が、3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（極めて優れている）・b1（優れている）・b2（標準的である）・b3（やや標準に足りない）・c（大きく標準に足りない）の5段階で評価する。(ア)、(イ)の評価項目については、aを15点、b1を12点、b2を8点、b3を4点、cを1点とし、(ウ)の評価項目については、aを20点、b1を15点、b2を10点、b3を5点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各50点満点）を合計し、得点化する。

**ア 口頭による自己表現（日本語による自己アピール）**

評価項目	評価基準
(ア) 意欲・態度	発表に積極的・意欲的に取り組んでいる。 発表における態度が適切である。
(イ) テーマ・内容	発表テーマの設定が適切である。 発表内容が整理されており、まとまっている。 発表内容が自らの体験等に基づいており、説得力がある。
(ウ) スピーチの能力	発表におけるスピーチの基礎的技能を身に付けている。 表現力豊かに、分かりやすく発表を行うことができる。

**イ 実技による自己表現**

評価項目	評価基準
(ア) 意欲・態度	当該種目に積極的・意欲的に取り組んでいる。 発表における態度が適切である。
(イ) 基礎的技能	当該種目における基礎的技能を身に付けている。
(ウ) 専門的技能	当該種目における専門的技能を身に付けている。

**4 選抜方法**

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（自己表現）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、募集人員までを入学許可候補者とする。

＜総得点の満点の内訳＞

学力検査の 得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定 (K=1)	加点	自己表現	
500点	135点	45点	100点	780点

**5 その他**

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途、個人面接を行う。